

技術士 2 次試験に合格して



密山 彰浩

(みつやま あきひろ)

勤務先

ダイシン設計 株式会社

構造部 構造二課

〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 1 番地 23

TEL 011-222-2325 FAX 011-232-0540

E-mail a-mitsuyama@dacc.co.jp

■ 専門：建設部門(鋼構造及びコンクリート)

1. 自己紹介

私は、1978 年(昭和 53 年)に江別市で生まれ、江別と札幌で学生生活を過ごした後、北海道工業大学(現在の北海道科学大学)の建築工学科を卒業しました。大学の前半で建築全般を学んだ後、後半は構造系の分野に進み、卒業論文は「炭素繊維シートを用いた開口周囲 RC 部材の耐震補強効果に関する実験的検討」について研究を行いました。

大学卒業後は、室蘭市を拠点とする土木関係の建設コンサルタントへ就職し、道路構造物の計画・設計業務等に携わってきました。その後、2007 年(平成 19 年)に現在の会社へ移り、主に橋梁の定期点検、長寿命化修繕計画の策定と技術的提案、補修設計等の維持管理業務を担当しております。

2. 技術士試験について

(1) 受験動機

私の受験動機は、「困難な資格への挑戦」です。

土木業界へ入り、約 15 年経過しましたが、最終学歴が建築専攻であるため、「建築出身の土木技術者」という引け目が常に頭の片隅にありました。そのため、土木一筋の同僚や周囲の技術者との知識や技術力の差をひしひしと感じ、他の人の二倍～三倍の努力が必要と感じながら、日々の業務を行ってきました。そこで私は、自分の技術力向上の手段の一つとして、継続的な資格取得に励んできました。

過去には、多くの場面で未熟さを感じる場面がありましたが、継続的な資格取得の勉強により、専門知識や技術が蓄積され、日々の業務を円滑に行うことができ、継続研鑽が少しずつ実を結び始めたことを感じました。

この経験から、改めて自分の技術水準の確認と更なる活躍の場を広げることを目標に、土木業界最高峰の技術士取得に挑戦することにしました。

(2) 2 次試験(筆記試験)

私は長期計画を立て、筆記試験対策に取り組みました。まず、専門の基礎知識と応用能力を身につけるため、コンクリート系の民間資格の取得を目標にし、受験勉強をしました。次に、課題解決能力を身につけるため、SUKIYAKI 塾よりご教授賜った骨子法やマインドマップを実践し、実務でも報告書や協議簿等のまとめ方に応用し、その有効性も確認しました。また、筆記試験対策の限られた時間の中で、可能な限りの知識吸収から、有効なキーワードをアウトプットできるように勉強したことが合格の大きなポイントになったと考えます。

(3) 2 次試験(口頭試験)

口頭試験は、会社の支援なしには語れません。

会社の全面的な口頭試験対策により、自分の経験や能力以上の対策をして頂き、どうにか約 1ヶ月の短い期間で準備が出来ました。

口頭試験を終えた感想として、業務経歴に関するプレゼンテーション力、試問に対する簡潔明瞭な受け答え、思いもよらない試問に対する冷静な対応、新技術とその導入に対する興味と技術研鑽をアピールできたこと等が合格のポイントになったと感じました。

3. 今後に向けて

今後は、社会や科学技術の動向を探り、継続研鑽を重ね、時代のニーズに対応できる技術者になることが目標です。そのためには、人的・情報ネットワークを構築することに加え、今まで以上に努力と挑戦を続けていきたいと考えております。

最後に、私を支えてくれた家族、献身的かつ丁寧に指導して頂いた先輩技術士や会社の方々、本投稿の貴重な機会を与えて下さった日本技術士会に対し、この場をお借りして深く感謝申し上げます。